

名事研=ユース

名古屋市立小中養護学校事務研究協議会
<http://meijiken.sakura.ne.jp/>

No. 136

平成20年 6月 30日
発行 名古屋市立小中養護学校
事務研究協議会 情報部
発行責任者 濱田 光晴

4月25日、名古屋市教育センターにおいて平成20年度定期総会が開かれ、平成19年度の事業報告等の審議のあと、中村新会長が承認されました。平成20年度事業計画、予算案等についても承認され、新体制の下、本年度の名事研活動がスタートしました。

新たなステージへの挑戦

会長 中村 紀子
(鶴舞小学校)



現在さまざまな教育改革が行われ、教育を取り巻く環境も大きく変化してきています。平成23年度からは「生きる力」の理念を共有しつつ、新学習指導要領が施行されることとなり、平成21年度より可能なものから先行して実施されることになっています。

そのような中、平成20年度は名古屋の学校事務にとっても厳しい変革の始まりの年になりました。長年の課題とされていた「標準職務」が通知され、「教職員評価」も本格実施されました。そして何よりも大きな変化は、市内10ブロックについて「学校間連携」が実施されたことです。この学校間連携は、団塊の世代の大量退職とそれに伴う新規採用職員や少経験者の増大とともに来年度以降も拡大されると予想されています。

ほとんどが単数配置でOJTの実施が難しい状況の中で、この新しい仕組みは少経験者にとって有効な手段となり得ます。また、今まで学校内で完結していた事柄について視点や枠組みを変えることで、もっと効率的・効果的に学校事務を行うことができる可能性があります。連携校の課題や成果を学校事務職員全体で共有し、検証することが必須となります。

しかしこの学校間連携は危うい側面も持っています。学校事務職員がそれぞれの学校に必要な存在であること、学校に学校事務職員がいることの意味を示し、社会からの共感を得ることが今後重要なカギになってくると思います。ここ数年のうちに、この「学校間連携」をツールとして名古屋の学校事務は新たなステージに突入することを視野に入れながら、早急なる対応を考えていかなければなりません。

本年度名事研では「連携」をコンセプトにしています。各学校内の連携はもちろん、学校間、区内、また市教育委員会始め関係諸団体とも連携し、信頼される学校づくりや子どもたちの輝きを支援できるような学校事務の創造に向けて、勇気を持って取り組んでいくことが必要だと考えます。

平成20年度 名事研活動について

副会長 服部 紋子
(御園小学校)

名事研では、過去3年間にわたり「学校事務未来！ 一歩前へ」をテーマに各区の世話係や会員の協力を得ながら、各種の事業を進めてきました。その結果、各区学校事務研究会の研究・研修活動の状況及び、学校事務の未来へと向けて進む気持ちの上でも、会員一人一人がその状況に応じた「一歩前へ」の実現につなげることができたものと思います。

そして、今年度は新たに年間テーマを次のように設定しました。

「子どもたちの輝く未来と学校事務の明日へ」 ～つなげる想い！高めあう力！～

このテーマをもとに、区内や学校間での様々な連携や、区内での研修体制及び中学校ブロック等の連携についても研究・協議を進めていきたいと考えます。様々な連携を通して、学校事務が子どもたちの輝く未来を支えるためのより大きな力を生み出していくことになればと思います。

研究大会についても、名事研の新しい年間テーマと同様に設定し、平成21年1月に名古屋市教育センターにおいて開催をします。研究大会の目的を念頭に置き、世話係会で協議し会員の協力を得ながら、各区学校事務研究会の研究・研修活動との連携を図って、充実した大会にしていきたいと思えます。

事務局においては、昨年度の事業評価を受けて、本会の組織運営方針の明確化と会員への周知に重点をおきながら、名事研事業における課題の整理と重点項目化を行い、組織運営全般の企画・立案機関としての機能を高められるように努めます。また、本年度も本会の事業評価を行い、さらなる改善策を検討し、次年度の活動をより充実したものになるように努めます。

今年度、名事研では各局部間においても「連携」をコンセプトにし、事務局・研究部・研修部・総務部・情報部が各々「子どもたちの輝く未来と学校事務の明日へ」を念頭におき、会員のニーズにあった様々な事業を展開できるように進めます。

その他の事業として、平成21年度版学校事務ハンドブックを千種区学校事務研究会が担当します。また、今年度は学校事務特別研修会を行うことを始め、政令指定都市間の情報交換、区情報ネットワークの活用、他団体や組織との連絡調整を行います。

これらの事業を通して、よりよい学校づくりにつながるよう会員の皆様のご協力をお願いします。

各局・部長から ひとこと

研究部

研究部長 長松軒 由美

この春、事務職員になって3回目の異動をしました。4月には学校事務職員の標準職務が通知されましたが、具体的な職務や事例は、学校によって異なることも多く、慣れない環境に身を置くことは、とてもエネルギーのいることだと改めて感じます。

研究部では、学校づくりにおける学校事務職員の役割や、名古屋の学校事務のあり方について研究を進めます。少ないメンバーですが、私たちのこれからのを、皆さんと共に考えていきたいと思っています。

総務部

総務部長 内藤 洋子

今年度総務部は他の専門部等と連携をはかり、事業内容を見直しつつ活動していきたいと思っています。活動内容は企画運営事業として、市研究大会・定期総会の準備運営をし、会が円滑に進行でき充実したものになるよう努力していきます。

また資料作成事業として要覧・事務職員名簿の作成発行と重要通知文集の更新、そしてよりよい内容と発行方法について検討し、皆さんの手助けになるような資料の発行をしていきたいと思っています。

その他、連絡調整業務として各種研究大会の案内や会報等の配付を迅速に行います。ご要望等ありましたら、お聞かせください。

事務局

事務局長 加藤 豊子

想いをつなげる・・・その第一歩は、関心を寄せる、関心を向けることから始まるのではないのでしょうか。関心を寄せあうことで、ネットワークが生まれ、目標を持ち、主体的に活動していくことで、多くの力が生まれます。一人ひとりの歩みは小さくても、その歩みを皆でつなげていけば、大きな歩みになると思います。そのためにも、歩み続けていくことが大切だと考えます。

事務局は、みなさんの想いをつなげていく役割を担っていると思います。その想いをどのような力として生かしていけるのか・・・責任の重さを痛感しつつ、学校での子どもたちの輝きに少しでも生かされるような取り組みを行っていきたいと思います。

研修部

研修部長 山内 健嗣

今年度、基礎研修会は新たな3年一巡サイクルがスタートします。

研修会を1年目対象と2、3年目対象の2つに分け、内容の充実を図ります。全体研修会では、初の試みとして第1回全体研修会を他専門部と連携して行います。

これら研修会の企画・運営を通して、会員の皆さんの役に立つ知識や情報を提供できるよう研修部員一同頑張っていきますので、1年間よろしくお願ひします。

情報部

情報部長 濱田 光晴

私が情報部に入った理由は、コンピュータの使い方がサッパリわからないので、部に入って分かるようになればいいなと思ったことです。いろいろな事柄を勉強していこうという姿勢を持ち続けることが大事だと思います。とりあえず「一歩前へ」です。

情報部では、その時期に適した情報の収集・発信と、職務の手助けになるデータベース等を会員の方々に提供できればと思い活動しています。今年1年間もよろしくお願ひするとともに、ご意見等も情報部までお寄せいただければ幸いです。



講演 「学校事務職員に期待すること」

講師 名古屋市教育委員会 教職員課長 小口 博則 氏

総会に先立ち、小口教職員課長より、「学校事務職員に期待すること」と題して、ご講演をいただきました。

はじめに学校事務職員の法的位置付けの説明をされ、続いて今年度4月に通知された学校事務職員の標準職務について、策定の趣旨を理解し、業務内容を考慮し適切な分担及び過重な負担とならないよう留意して、学校事務の円滑かつ適正な運営を図るよう話されました。

また、中教審の内容等から学校事務職員の役割について触れられ、予算執行の教育効果を全教職員と話し合う機会を積極的に持ったり、説明責任としてその教育効果を検証する等、具体的な働きかけについて示されました。財務面から働きかけ、学校経営のスタッフとして積極的に学校経営に参画をして欲しいと述べられました。

おわりに10ブロックで始まった学校事務の学校間連携については、今年度の実施状況を踏まえ改善し、名古屋の学校事務のレベルアップにつながることを期待していると結ばれました。

平成20年度 役員・専門部員等名簿

会 長	中村 紀子 (鶴舞小)	県事研副 会 長	山 寄 道子 (川中 小)
副 会 長	榊原 功剛 (日比野中)	〃 監 事	幸島 克昌 (守山東中)
副 会 長	加島 道代 (宮 中)	〃 研 修 部 長	二村 忠浩 (千石小)
副 会 長	服部 紋子 (御園小)	〃 事 務 局	小池ひとみ (名城小)
顧 問	林 敦子 (幅下小)		伊藤 真也 (貴船小)
会 計	服部裕美子 (中根小)		早川 数幸 (平田小)
会 計 監 査	森川千栄子 (那古野小)	〃 研 究 部	近藤万友美 (東白壁小)
会 計 監 査	近藤万友美 (東白壁小)	〃 研 修 部	安永 志穂 (名南中)
世 話 係 長	山崎 文恵 (森孝中)	〃 研 修 部	川角 涼子 (北一社小)
副世話係長	田中 明美 (植田北小)		鈴木 秀実 (有松中)
全事研監査	桑山 賢治 (萩山中)	〃 情 報 企 画 部	森 智枝子 (福春小)
全事研理事	高木 英之 (今池中)		宮田香津子 (大手小)
表簿用紙規格研究委員会委員	加島 道代 (宮 中)		
表簿用紙規格研究委員会委員	石原かおり (千年小)		
事務局	事務局 長 加藤 豊子 (白鳥小)		
	事務局次長 永井 智子 (丸の内中)		
	林 昭宏 (六反小)	白根 勲 (天白小)	
	小池ひとみ (名城小)	江上 愛子 (大坪小)	
研究部	◎長松軒由美 (矢田中)	高木 英之 (今池中)	田中 理恵 (日比津中)
	○毛利 和正 (豊田小)	宮地 里美 (本郷小)	
研修部	◎山内 健嗣 (千種中)	中村 昌也 (橘 小)	山田 雅代 (八幡小)
	○坪井 宏之 (楠西小)	土井 裕子 (桜山中)	佐久間万由 (野並小)
	○遠藤 剛 (神丘中)	横井 智史 (井戸田小)	成瀬 沙智 (豊治小)
	横田 昌史 (飯田小)	石原かおり (千年小)	山崎 文恵 (森孝中)
	今井まり子 (名北小)	小木曾春奈 (正木小)	
総務部	◎内藤 洋子 (助光中)	井口 貴夫 (筒井小)	川端 真実 (上名古屋小)
	○関水 紀子 (成章小)	佐藤 治男 (米野小)	串田 出 (円上中)
	森川美穂子 (旗屋小)	佐藤真澄美 (八熊小)	伊藤亜里沙 (一柳中)
	田中 弘恭 (熊の前小)	慶久 正喜 (千鳥丘中)	堀端 誠子 (高坂小)
	福本 定治 (苗代小)		
情報部	◎濱田 光晴 (桜丘中)	大河内威雄 (新栄小)	萬代 圭亮 (伝馬小)
	○渋谷 高司 (原 小)	安達孝一郎 (はとり中)	土田 陽一 (守山養護)
	鈴木 俊太 (比良西小)	今村 京子 (高木小)	加藤 里香 (明德小)
	早川 数幸 (平田小)		

[◎は部長 ○は副部長]